

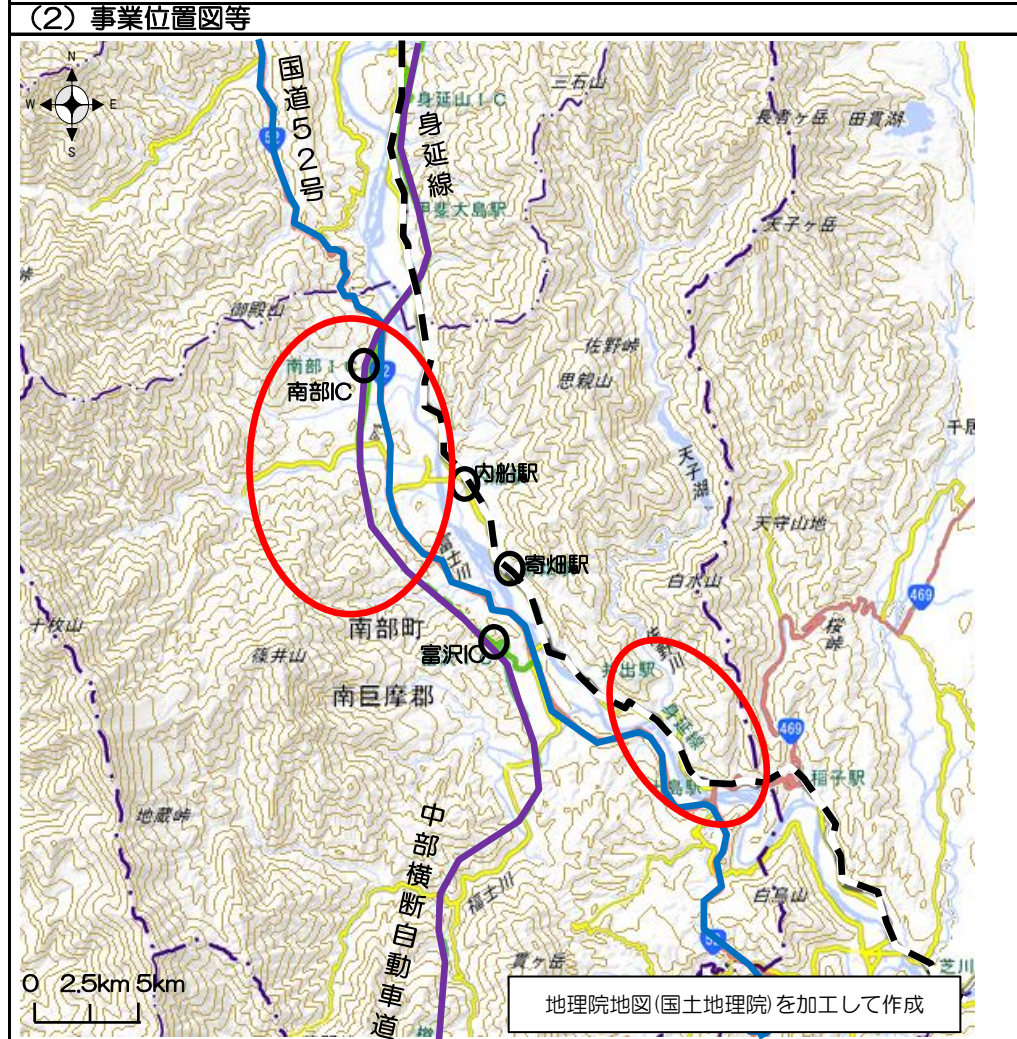
# 令和4年度 公共事業再評価調書

## 1. 事業説明シート

(区分) (国補) ・ 県単

事業名	中山間地域整備事業 〔中山間地域総合整備事業（国補）〕		事業箇所	南巨摩郡 南部町中野～十島	地区名	南部	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	④特記事項（関連事業概要等）					
	H24～H29	H24～R5	変更計画	H24～R7				
総事業費	2,000 百万円	2,577 百万円	2,900 百万円					
⑤これまでの評価状況（平成23年度事前評価）								
本事業は、生産基盤整備の遅れに伴う生産効果の低下、鳥獣被害等による農地の遊休化を防止するとともに、生活環境の改善による定住化を期待できる事業であり、実施が妥当である。								
⑥(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果 本地区は、南部町北部に位置する中山間地域であり、水稻や特産品のお茶等が生産されている地域である。 しかしながら、地区内の農地は狭小かつ不整形、農道は狭く未整備のため作業効率が悪く、シカ、イノシシ等の野生獣による農作物被害も頻発していたことから、営農意欲が減退するなど、多くの課題を抱えていた。 このため、用排水路、農道、区画整理などの農業生産基盤の整備と併せて、鳥獣害防止施設の整備を行い、営農条件の改善を図るとともに、地区内を通る中部横断自動車道の供用開始を契機とした都市住民との交流等を推進し、地域活力の向上を図ることを目的に事業を実施している。								
□主要目標 ○中山間地域等の農村生活・生産機能の向上 ・農業所得増加額 1,592千円/ha > 1,322千円/ha*（※評価基準値） ・生活環境施設受益者数 312人/箇所 > 245人/箇所*								
□副次目標 ○集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 ○農業用排水能力の向上 ○鳥獣被害の軽減								
□副次効果 ○遊休農地の解消 ○農林産物の販売促進								
②事業概要								
	現計画	変更計画	現計画	変更計画				
用排水路	L = 6,147 m → L = 7,140 m	農業集落排水	L = 1,144 m → L = 1,144 m					
農道	L = 1,961 m → L = 1,894 m	集落防災安全施設	N = 3箇所 → N = 3箇所					
区画整理	A = 15.0 ha → A = 16.4 ha	活性化施設	N = 1箇所 → N = 0箇所					
鳥獣害防止施設	L = 13,944 m → L = 13,944 m							
③全体計画								
		令和3年度まで	令和4年度 (評価実施年度)	令和5年度以降				
現計画	工事内容	用排水路 L = 5,137m 農道 L = 1,961m 区画整理 A = 15.0ha 鳥獣害防止施設 L = 13,944m 農業集落排水 L = 1,144m 集落防災安全施設 N = 3基 活性化施設 N = 1箇所	用排水路 L = 530m	用排水路 L = 480m				
	事業費	2,500 百万円	41 百万円	36百万円				
変更計画	工事内容	用排水路 L = 4,950m 農道 L = 1,564m 区画整理 A = 14.9ha 鳥獣害防止施設 L = 13,944m 農業集落排水 L = 1,144m 集落防災安全施設 N = 3基	用排水路 L = 990m 農道 L = 330m	用排水路 L = 1,200m 区画整理 A = 1.5ha				
	事業費	2,447 百万円	130 百万円	323百万円				

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。



地理院地図(国土院)を加工して作成

## 2.評価シート(1)

### (1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

(今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)

#### ①地域・住民の意向状況

用排水路等の未着手路線についても、早期の整備が求められている。

#### ②産業・経済情勢

本事業を実施していくとともに、中部横断自動車道南部IC及び道の駅なんぶについても具体化され、平成30年度には道の駅なんぶ、令和3年度には中部横断自動車道南部ICの供用が開始された。道の駅には地区内で収穫された農作物やその加工品が取揃えられており、IC供用開始後は県内外から多くの観光客が訪れ、地域活性化の取り組みが促進されている。

#### ③国等の方針

なし

#### ④上位計画・関連事業計画等

やまなし農業基本計画(令和3年9月改定)

#### ⑤自然環境条件等

なし

#### ⑥その他

なし

### (2) 評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点	変更計画時点
総事業費		2,000 百万円	2,900 百万円
工期		H24 ~ H29	H24 ~ R7
評価基準年		H23	R4
経済 効 率 性	費用	2,473 百万円	3,798 百万円
	建設費	2,473 百万円	3,798 百万円
便益		3,141 百万円	5,283 百万円
作物生産効果		1,756 百万円	2,044 百万円
営農経費節減効果		882 百万円	1,676 百万円
災害防止効果		160 百万円	603 百万円
その他※		343 百万円	960 百万円
B/C		1.3	1.4

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、走行経費節減効果、国産農産物安定供給効果、生活環境改善効果、災害時応急対策効果、維持管理費節減効果

### (3) これまでの計画変更等の概要

- ・計画区域での区画整理の実施を契機に、周囲の新たな区域においても区画整理の気運が高まったことから、整備面積が増となった。また、それに伴う地元調整及び工事に期間を要したため計画期間を6年延長した。
- ・用排水路、農道について既存石積みを活用する計画であったが、はらみ出し等の不安定箇所が見られたことから、崩落を防止するため土留構造物との一体的な整備が必要となった。

	当初	現計画
事業費	2,000百万円	→ 2,577百万円
計画期間	6年延長	
区画整理	11.7ha	→ 15.0ha

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率  
別表のとおり。  
R4年度進捗率(現計画)98.6%→(実績)98.1%→(変更計画)88.9%

②進捗率実績が計画と相違している理由  
計画どおり進捗

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
区画整理	80百万円 増	計画区域での区画整理の実施を契機に、周囲の区域においても区画整理の気運が高まったことから、面積が増となった。
用排水路	326百万円 増	既設利用区間について、漏水等の老朽化が著しく営農に支障を来していたことから、整備延長が増となった。
活性化施設	83百万円 減	中部横断自動車道の南部ICに併設された道の駅において、農産物の販売や都市住民との交流等が促進されるなど、本施設の機能が代替されるようになり、整備が不要となった。
合計	323百万円の増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定  
追加する計画路線について、合意が得られたことから計画的かつ効率的な実施に努め、工期を2年延長し令和7年度の完了を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点  
なし

(5) 環境負荷等への配慮  
なし

(6) コスト縮減の可能性  
なし

(7) 代替案立案の可能性  
なし

(8) 所管部の今後の方針 継続・**見直し継続**・その他( )  
(理由)  
南部ICの供用開始により、道の駅には地元の農作物等を求め多くの観光客が増加していく中で、地域の更なる活性化を促進するために必要不可欠な基盤整備であることから、事業を継続し、令和7年度の完了を予定している。

○別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法:【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位: %

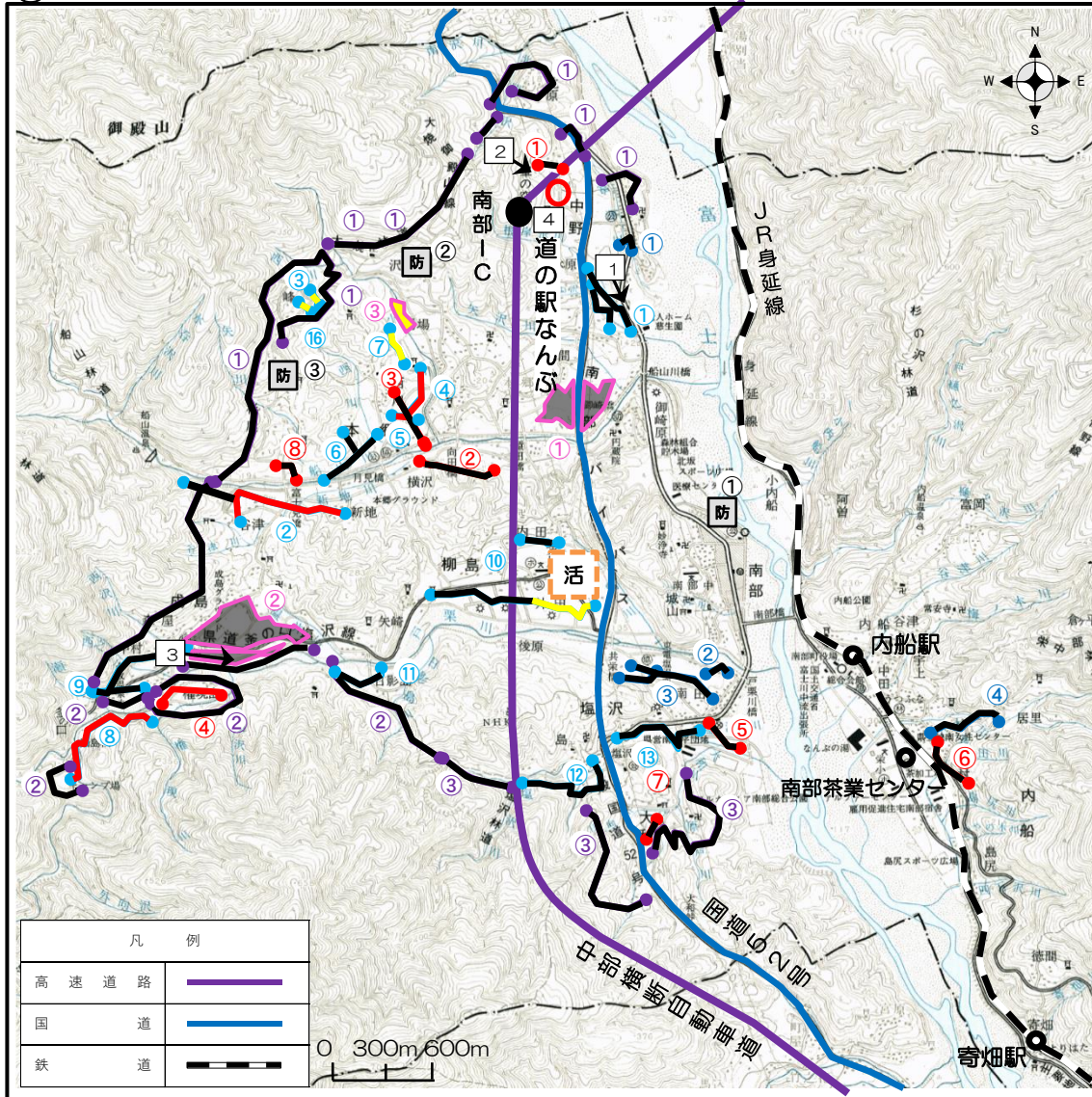
	年度	*H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	*R4	R5	R6	R7				
現	計画	5.8	13.6	23.3	34.9	48.5	62.1	75.7	89.3	93.1	97.0	98.6	100						
	実績	9.3	15.8	23.8	33.3	44.2	60.1	75.2	78.8	89.5	95.0	98.1							
変更計画												88.9	93.7	98.5	100				

\*事業着手年度又は評価年度  
\*R4年度の実績は見込み

3. 添付資料シート (1)

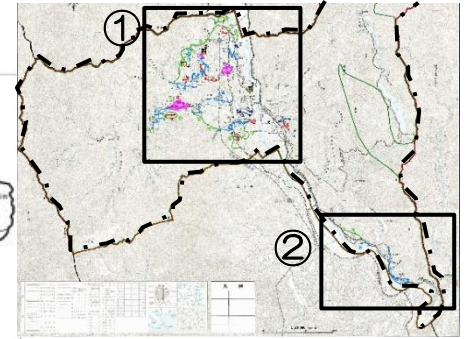
中山間地域整備事業 南部地区

①

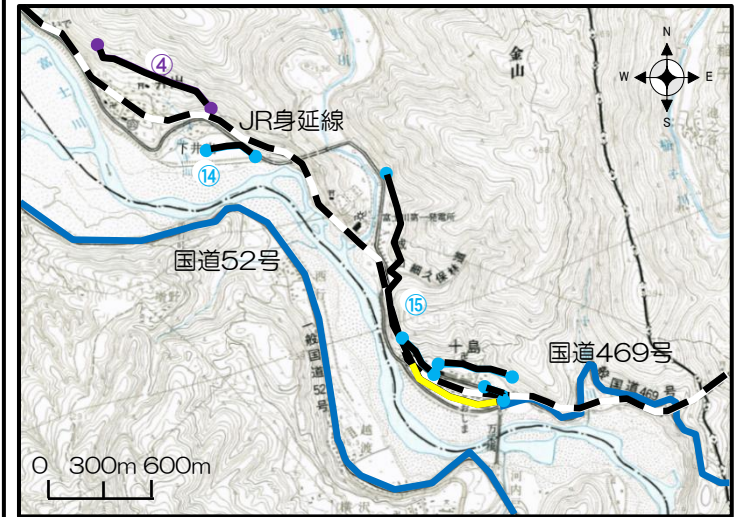


凡 例	
高速道路	
国道	
鉄道	

0 300m 600m



②



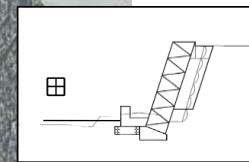
凡 例			
用排水路	①~⑬		令和3年度まで
農道	①~⑧		
区画整理	①~③		令和4年度実施
鳥獣害防止施設	①~④		令和5年度以降
農業集落排水	①~④		
集落防災安全施設	①~③		計画増
活性化施設			写真撮影方向
受益面積 98.4ha			事業計画区域

### 3. 添付資料シート (2)

#### 1 用排水路



未整備のため、排水不良や農地への用水供給に支障を来していた。



水路を整備することにより排水不良の改善や安定した用水供給が可能となった。

#### 2 農道



幅員が狭かつ未舗装であることから車両の進入が困難であった。



道路幅員が広がったことで、軽トラックなどのすれ違いが可能となり、作業効率と安全性が向上した。

### 3. 添付資料シート（4）

#### 3 鳥獣害防止施設



イノシシ、シカによる農作物被害により、耕作者の営農意欲の低下を招いた。



鳥獣害防止施設の整備により、農作物被害が軽減されるとともに、耕作者の営農意欲が向上した。

#### 4 道の駅なんぶ



道の駅なんぶには、地区内で収穫された農作物等に加え、それらの加工品が取り揃えられている。中部横断自動車道南部ICが供用開始されたことから、県内外から多くの人々が訪れるようになり、地域の活性化が促進されている。

#### 4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H24	239,000	用排水路 L=748m、鳥獣害防止施設 L=3,045m	8.2%
H25	169,000	用排水路 L=487m、鳥獣害防止施設 L=3,347m、 農業集落排水路 L=352m	14.1%
H26	205,960	用排水路 L=492m、鳥獣害防止施設 L=2,940m	21.2%
H27	244,913	用排水路 L=1,226m、農道 L=411m、 鳥獣害防止施設 L=2,071m、集落防災安全施設 N=1箇所	29.6%
H28	280,000	用排水路 L=1,339m、農道 L=500m、 鳥獣害防止施設 L=637m、農業集落排水路 L=792m	39.3%
H29	410,000	用排水路 L=658m、農道 L=20m、 区画整理 A=6.5ha、鳥獣害防止施設 L=1,435m	53.4%
H30	390,000	農道 L=281m、区画整理 A=3.5ha	66.9%
R1	91,000	農道 L=61m、区画整理 付帯工	70.0%
R2	277,013	区画整理 A=4.9ha	79.5%
R3	140,000	農道 L=291m、集落防災安全施設 N=2箇所、 鳥獣害防止施設 L=469m	84.4%
R4	130,000	用排水路 L=990m、農道 L=330m	88.9%
R5	140,000	用排水路 L=750m	93.7%
R6	140,000	用排水路 L=250m、区画整理 A=1.5ha	98.5%
R7	43,114	用排水路 L=200m	100%
合計	2,900,000		